



ぐるんとまちかど新聞は「世界をひとつの家族に」をテーマに、ぐるんとびーでの日常や地域のことを発信していきます。



サイトはこちらから



ぐるんとびーが大切にしていること

★ 最期まで生きる



← 末期癌の利用者さんの「死んでもいいからプールに行きたいたい」という願いを実現。ぐるんとびーの原点です。

本人の「やりたい」に対して、できない理由ではなく、できる方法を諦めずに考え続けることで、人生の最期まで生きることに徹底的に伴走します。

★ みんなの2つ目のリビング



利用者さんの中には、ぐるんとびーにふらっとコーヒーを飲みに来られる方もいます。時にはスタッフの悩みをお相談したり。まるで家族がリビングに集まっているよう

★ 住み慣れた自宅で 地域住民として生きる



これは、介護が必要になったからといってなくなってしまうものではありません。行きつけのスーパーなど住み慣れた地域へ出かけたり、地域との繋がりを持ちながら暮らしています。

★ 今の“今”を生きる



誰しもがそうであるように、今この時は“今”しかありません。日々の生活の中で、季節を感じたり、ちょっとした楽しみを見つけながら、“今この瞬間”を大切にしながら暮らしています。

表彰・受賞



かながわベスト介護セレクト20
にて3年連続表彰

GOODデザイン賞
2025を受賞！

事業所の空き情報



空き: ○



空き: △



空き: △



空き: ○



空き: ○



空き: ○

ぐるんとびーってどんな場所？

Grundtvig, inc.



- 看護小規模多機能型居宅介護
ぐるんとびー駒寄
Tel 0466-51-7275



- 看護小規模多機能型居宅介護
ぐるんとびーホーム
Tel 0466-54-7006



- 放課後等デイサービス
HERO'S HOUSE 「ヒーローの家」
Tel 0466-21-9070



- 鎌倉でグループホームを建設中！2026年8月オープン予定



一緒に働く仲間を募集中！見学もお気軽に！
tel. 0466-21-9090

発行元：株式会社ぐるんとびー 神奈川県藤沢市大庭5682-6パークサイド駒寄3-612



日常の発信は
こちらから

介護・看護・リハビリ
のご相談は
ぐるんとびーまで！

利用者さんスタッフに聞いた！

2025年の『漢字』

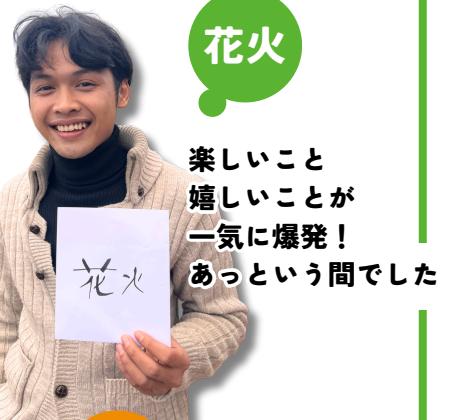
踊
5歳の娘がダンスの初舞台を迎えた！親の血を継いで可愛かった♡笑



縁

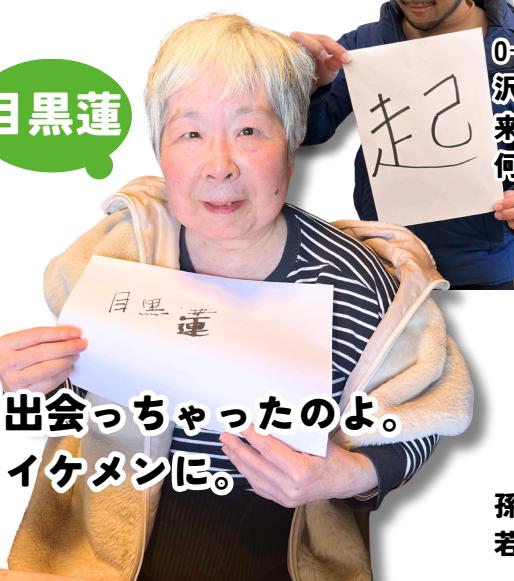


花火



楽しいこと嬉しいことが一気に爆発！あっという間でした

目黒蓮



出会っちゃったのよ。イケメンに。

起

長年関わった方や私より若いお母さんのお看取り。沢山の出会いとお別れがありました

栄



0~1で作ることが沢山あった一年でした来年もきっと何かが起こる....

創



栄子です♡来年も栄える年になりますように♡

孫

孫が二人産まれました！若おばあちゃん誕生！

楽



今年も楽しくて沢山笑いました♡

実録！「ぐるんとびー事件簿 2025」

えつさんの笑顔に恋してます♡事件！？

11月からぐるんとびーの仲間入りをした、えつさん。そのあまりにもチャーミングな笑顔に、スタッフ川邊くん完敗！今日も彼女の笑顔を引き出すために全力投球中です。

第一印象は？

すごい笑顔がキュートな方だなあ～って

ひ・み・つよ
私だけが知ってるのよ～

好きなところは？

いつも笑ってるところ

これから見つけます♡

これからに
対して一言！

えつさんのことを
さいごまでお供します！

豊かに過ごして
いたら嬉しいわ～

恋するように介護するぐるんとびー



新人スタッフ × ベテラン対談

笑い飛ばせば、ケアはもっと楽しくなる。



今回は、ぐるんとびー創業期の10年前から現場を支える大内さんと、特養での経験を経て入社したばかりの佐藤さんに、ここで働く本音を語り合ってもらいました。



佐藤さん。2025年11月入社。ぐるんとびーサテライト配属

福祉大学を卒業後、6年間特養で働いたのち、ぐるんとびーと出会う。「ここだ！」とビビッときて愛知から移住し、初めての一人暮らし始める！

大内さん。2015年10月入社。ぐるんとびー看多機配属

直感型の大ベテラン！創業期から携わり丸10年。「ぐるんとびーの母」としても仲間を支え、深刻なケアも笑いに変えてしまうパワフルでぐるんとびーには欠かせない存在。



心が折れそうな日は、入社当時の『あの日』を思い出す

大内：10年続けてきて気づいたのは、結局向き合うべき相手は「自分自身」なのだとこと。仲間が辞めて心細い時や、「どうして私ばかり」と周囲に心が揺らいでしまう時は、どうしてもここで働きたかった“あの原点の気持ち”を思い出すようにしています。

佐藤：確かに前職に比べて任される幅が格段に広がりましたが、その分不安もあります。夜間のオンコールが増えたとき、しっかり務まるだろうか…と考えてしまったり。

大内：不安だよね。でも大丈夫。ぐるんとびーには、決して一人にしない「チームの仕組み」があるから。かつて一晩に3件の呼び出しが重なっても乗り越えられたのは仲間の支えがあったから。だから安心していいんだよ。



「丁寧なケア」だけが正解とは限らない？

佐藤：大内さんから見て、新人スタッフの私だからこそ、できることって何だと思いますか？大内：その人にしか引き出せない「その人らしさ」が絶対にあると思う。

例えば、ずっと品良く暮らしてこられた利用者さんに、私が「あちらのお席へどうぞ」と丁寧に接していた時のこと。ある新人スタッフが「ピンク似合ってますね！可愛い！隣座っていいですか？」って明るく懐に飛び込んだら、その利用者さんが急におどけて駄洒落を言い出したの。きっと80年間の人生で初めてのことじゃないかな。その利用者さんのチャーミングな素顔を引き出したのは、私にはできなかった新人スタッフの感性。すごいなって思いました。



利用者さんの「キラキラ輝く瞬間」を見つけるために

大内：逆に、佐藤さんは、いま何か悩みとかはある？

佐藤：具体的な悩みはまだありませんが、大内さんの話を聞いて、「笑いに変える力」をもっと大切にしたいと思いました。何かあると落ち込むこともあります、それは本当に沈むべきことなのか、笑って前を向けることではないか、と新たな気づきがありました。利用者さんとお喋りする時間がたっぷりあるからこそ、その方がキラキラ輝く瞬間をたくさん見つけていきたいです。

大内：事業所は違っても、いつでもこのスペースでお菓子を作ったり、自由に使ってね！心が晴れないことがあったら、いつでも相談に乗るからね！